



はじめまして、
北清企業株式会社です。

北の大地で未来をつくる！

Corporate Guide Book

北清企業株式会社

www.hokuseikigyou.jp

「埋める・燃やす」から「使う・活かす」へ お客様とともに、地域とともに

私たち北清企業グループは、昭和44年の創業以来、廃棄物をとりまく環境事業を先取りし、独自のシステムを構築して参りました。

地球環境問題が世界レベルで呼ばれる昨今、20世紀の廃棄物処理業は、21世紀の資源循環業としての業態変化を求められ、時代のニーズは「埋める・燃やす」から「使う・活かす」への変革を迎えています。豊富な資源を私たちにもたらしてくれる地球への感謝を胸に、未来を担う子ども達のために今出来る事は何かを考え続け、それを具体的な物やサービスとして社会に還元していく事が北清企業の使命だと感じています。

例えば、現在取り組んでいるBDF事業は、集められた廃食油をバイオディーゼル燃料に自社精製し、地域資源を新エネルギーとして活用することで、CO₂削減に寄与しております。

また、新築系建設工事等に使用される石膏ボードの廃棄物を、グラウンド競技用ライン引き粉に有効活用し、全国のフィールドで使用されています。

廃プラスチック等の可燃ごみの固形燃料化(RPF)にも取り組み、地域循環型の再生エネルギー活用の仕組み作りにも取り組んでいます。

「北の大地を清くする」。創業以来変わらないこの理念を胸に、廃棄物処理業に留まらず資源循環の新たな仕組みを構築する環境創造型企業として、お客様とともに、地域とともに、挑戦を続けて参ります。

地球環境に配慮したお客様の良きパートナーとして、北清企業にお声掛けいただければ幸いです。



北清企業株式会社
代表取締役社長 大嶋 武

「北の大地を清くする」

ゆるぎない熱い想いを道しるべに歩み続ける、北清ストーリー

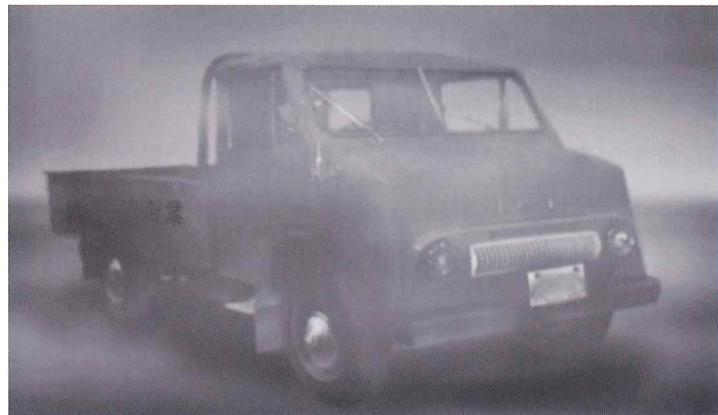
1969年3月。北の大地・札幌に、小さな塵芥処理業の会社が産声をあげました。現会長・川井雄一が、ごみ処理に困る地域の商店や会社のニーズに応えようと立ち上げた会社です。たった1台のトラックはやがて業界では先駆けとなるロードパッカーに変わり、限られたお客様に喜ばれていた地道で誠実な塵芥処理は、適正な廃棄物処理方法を模索していた行政に認められ、札幌の廃棄物処理の中核を担う会社へと成長を遂げていきました。

経済の発展に伴い、排出される廃棄物も様

変わりていきます。北清企業では廃棄物処理の一歩先の未来を常に見据え、環境に配慮した処理方法にいち早く取り組み、収集運搬、処理そしてリサイクルまで一貫して行うことができる独自のシステムを構築していったのです。

現在では全国に13のグループ企業を展開し、日本の廃棄物処理のパイオニアとして循環型社会の実現に邁進しています。

「北の大地を清くする」創業者が抱いたこの願いを道しるべに、北清企業の挑戦と工夫は続きます。



こんな「困った！」や 「なんとかしたい！」はありませんか？

- 処理に困っている廃棄物がある
- 今の廃棄物処理方法が、最新の法に適しているか心配
- もっとコストを抑える廃棄物処理方法が無いのか知りたい
- 廃棄物のリサイクル化に取り組みたい
- 引っ越し決まったが、ゴミの処理が心配
- クリーンな環境づくりに貢献したいが何ができるかわからぬ
- …etc

廃棄物処理・リサイクルのことならなんでもご相談ください。

Tel. **011-791-1101**

私たち、優良認定企業です。

当社は、環境省の「優良産廃処理業者認定制度」により認定された「優良産廃処理業者」です。適正な廃棄物処理は、ご安心して弊社にお任せください。

私たちが解決します！ HOKUSEIだから、できること。

お問い合わせからリサイクルまでワンストップで対応させていただきます！

？ ? ?



お問い合わせ

「廃棄物処理やリサイクル、どうしたらいいの？」
まずはすぐにお問い合わせください！



ご提案

お客様の企業価値を向上させ
社会貢献に配慮した最新の仕組みと方法をご提案



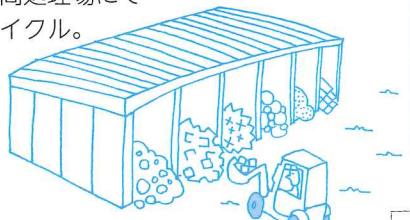
契約

産業廃棄物処理委託契約書締結

*排出事業者様に作成が義務付けられている契約書です。
基本事項が全て入ったひな形をご用意しており、作成まで
弊社が万全にサポートさせていただきます。

適正処理・リサイクル

北清グループの中間処理場にて
適正に処理、リサイクル。



1

ご相談・検討

お客様のお悩みやニーズをお伺いし、
最適な処理・リサイクル方法を検討

2

設計

お客様に最適な車両、分別容器、収集頻度…。
念入りな打ち合わせでベスト設計！

3



6

収集・処理（トライアル回収）

一定期間のトライアル回収を行い、さらなる効率化、
低コスト化、リサイクル率アップを検討します。

7



8

継続的なベストパートナーへ…



生まれています。

廃棄物に、新たな価値。 北の未来に、新たな HOKUSEI 物語。

HOKUSEI
ストーリー Vol.1

未来に続く、1本の白い線

北清企業では、これまでアルカリ性の商品が使われていたグラウンドラインに着目。新築の建設現場から排出される廃棄石膏ボードをリサイクルして、安全・安心な中性のグラウンドライン「エコプラスチックライン」の開発に成功しました。産学官連携で生まれたユニークな環境商品として高い評価をいただいています。北海道から沖縄まで全国の小・中学校でご利用いただいております。



「私たちは、子ども達に安全で健康な未来を提供します。」

HOKUSEI
ストーリー Vol.2

C O₂削減で、街にエコな灯りをともす

北清企業には廃食油からバイオディーゼル燃料（B D F）を精製するプラントがあります。廃食油を回収しB D Fを精製、そのB D Fを使った車両で廃棄物を収集するという独自の循環システムを構築しています。B D Fで走る北清企業の車で廃棄物を収集する事は、お客様のカーボンオフセットに貢献できます。また、年間のB D F製造量に応じて札幌市に寄付を行い、モエレ沼公園の環境イベントや環境教育を支援しています。札幌の冬の風物詩、ホワイトイルミネーションの点灯エネルギーとしてもB D Fを提供しています。

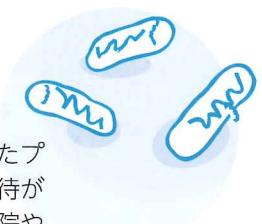


「私たちは、廃食油を地域に役立つエコエネルギーに変え提供します。」

HOKUSEI
ストーリー Vol.3

北海道再生熱利用への道を拓く

民間では札幌で初めて、R P F プラントを立ち上げました。これまで埋立・焼却処分されていたプラスチックなどの可燃ごみを固形燃料化するR P Fは、地域循環型の再生エネルギーとして期待が高まります。例えば、地域の病院や施設から排出される紙おむつをR P Fとして再生させ、病院や施設の熱エネルギーとして活用する取り組みも始まっています。地域で排出された廃棄物は、地域で再生させて地域で使う。そんな地域の循環を、私たちは創り出したいのです。



「私たちは、エネルギーを地域で循環させる未来を提供します。」

Made in HOKUSEI
再資源化・
エネルギー化

Made in HOKUSEI で 循環型社会の実現を目指す

廃食油を
車両燃料へ

『バイオディーゼル燃料 BDF』

レストランや家庭の使用済み植物性油を回収し、自社工場の廃食油再生燃料化装置で精製してBDFを生産しています。BDFは排ガス中の有害物質が少なく、軽油とほぼ同等の燃費と走行性、また、バイオ再生可能エネルギーなのでCO₂排出量はゼロとカウントされ、企業のCO₂排出責任の軽減に貢献することができます。北清企業の収集車はBDFをメインで使用しております。



建設廃材を
グラウンド・
ラインへ

『エコプラスター』

これまで埋め立て処理されていた、新築住宅建設などに使用される新品石膏ボードの端材を特殊製法でライン引き用の粉にリサイクルしたエコマーク商品です。pH7.5のほぼ中性で無臭、アスベス等の有害物質の含有の心配の無い人体にも環境にもやさしい引き粉なので、子ども達が毎日利用するグラウンドでも安心して使用できます。



新築現場から集められた廃石膏ボード



粉碎分離機・振動篩い機で粉に処理



再生材料の使用 100%
(石膏)

エコマーク認定番号
第07 112 081号

グリーン
購入法
適合商品



北海道認定リサイクル製品

炭酸カルシウム製 (pH9.4) より
アルカリ度が低い
ほぼ中性の石膏製です。
石膏製=ほぼ中性だから

安心



石膏と紙をきれいに分離



紙は廃プラスチック、木くずと
混合し RPF の燃料として再利用



可燃系廃材を
固形燃料へ

『RPF』

札幌で初めてとなる民間のRPF製造プラントを持ち、廃プラスチックの再資源化に取り組んでいます。RPFは廃プラスチック、紙くず、木くずを原材料とする固形燃料で、主に石炭、重油などの化石燃料の代替として製紙工場や鉄鋼業界、熱供給会社などで使用され、CO₂排出量が削減できるエコロジーエネルギーとして注目されています。



RPF とは

Refuse (= 廃棄)
Paper (= 紙)
Plastic (= プラスチック)
Fuel (= 燃料) の略



全てはお客様の満足のために

オリジナルのアイデアと設備で最適・最善のサービスを提供いたします

回収

お客様の保管場所や状況に応じた容器・コンテナをご提案します

●プラスチックドラム



多分別が必要なお客様に
最適な軽量で移動が楽な
収集容器

●フレコン台車



多分別に対応するキャス
ター付きのオリジナル台車

●鉄製コンテナ



メッシュ、鉄板、舟の3
タイプがあり、廃棄物の
種類に応じて選定可能

●フックロールコンテナ



金属やガラス等の長尺・
大物、重量物コンテナと
して最適

●分別品目看板



廃棄物の分別表示が一目
でわかる表示板をオリジ
ナルで制作し、わかりや
すい分別収集をサポート

運搬

お客様のご要望や現場に応じた多様な車種で、効率的な配車をご提案します

<保有車両の一例>

●クラムシェル



多量な廃棄物を迅速に収集できるオリジナル車両

●ユニック



荷台が広く多種類の廃棄物コンテナを一度に運
搬できる車両・計量付ユニックも保有

●フックロール



荷台が下がり、重量物の運搬を迅速に行う事が
できる車両

<定期ルートでの効率的な配車が可能>

- 定期的に収集する曜日を決定しエリアごとに収集運搬する仕組みで、低コスト化を実現します。
- トライアル期間を設け、より効率的な回収やコストダウン・リサイクル率向上の可能性をお客様とともに考えます。

処理

自社保有の中間処理場で適正処理。域内リサイクルシステムを構築しています



北清リサイクルセンター

選別作業により可燃系廃棄物はP R
Fのラインへ。不燃系廃棄物は次の
適正な資源化施設へ引き継ぎます



北清リサイクルファクトリー

選別・破碎により高品質な原材料やリ
サイクル製品へと生まれかわります。

建築系廃棄物・事業系廃棄物を地域エネルギー・リサイクル製品として地域に還元します。

地域エネルギー

P R F (固形燃料)

B D F (バイオディーゼル燃料)

未利用資源の製品化

エコプラスター（グラウンド用白線引き粉）

Z I P (重金属不溶化剤)

保有設備 産業廃棄物中間処理施設

- ・**北清リサイクルセンター** 札幌市北区篠路町拓北6番591,6番625
廃プラスチック、木くず、紙くず、金属などの産業廃棄物中間処理
RPFの製造
- ・**北清リサイクルファクトリー** 札幌市東区北丘珠3条4丁目1番5号
廃石膏ボード、廃蛍光管、廃乾電池、廃OA類などの産業廃棄物中間処理
エコプラスターの製造、バイオディーゼル燃料の製造

保有車両

産業廃棄物の形状により積載できる車両が異なります。

当社は多種多様な車両を保有しておりますので、排出状況に合わせた車両選定と効果的な収集体制をご提供できます。安心・安全な廃棄物処理とコストダウンをお考えなら、ぜひ当社へご相談ください。

- プレスパッカー** その場で圧縮・飛散防止対応
[2t] 全長 508cm/ 車幅 208cm/ 全高 209cm 積載重量 2,300kg
[4t] 全長 722cm/ 車幅 220cm/ 全高 276cm 積載重量 3,250kg
[5.5t] 全長 776cm/ 車幅 220cm/ 全高 271cm 積載重量 4,700kg
- 平ボディ** 多品目収集、パワーゲート付台車での積込が容易
[4t] 全長 854cm/ 車幅 241cm/ 全高 268cm 積載重量 3,250kg
- フックロール** 脱着式コンテナ交換により一次的な大量排出に迅速対応
[2t] 全長 441cm/ 車幅 180cm/ 全高 199cm 積載重量 2,000kg
[4t] 全長 612cm/ 車幅 220cm/ 全高 235cm 積載重量 3,850kg
[5.5t] 全長 614cm/ 車幅 220cm/ 全高 252cm 積載重量 5,200kg
- クラムシェル** 大容量・迅速収集対応
[5.5t] 全長 723cm/ 車幅 230cm/ 全高 354cm 積載重量 5,800kg
[9t] 全長 910cm/ 車幅 240cm/ 全高 349cm 積載重量 8,700kg
- パネル車** 気密・安全対応、医療系ボックス対応
[4t] 全長 832cm/ 車幅 223cm/ 全高 290cm 積載重量 3,050kg
- ダンプ** 大量排出、重量物に対応
[11t] 全長 991cm/ 車幅 249cm/ 全高 368cm 積載重量 9,400kg
- ユニック** 重量物に対応
[4t ユニック平]
全長 723cm/ 車幅 230cm/ 全高 354cm 積載重量 5,800kg
全長 898cm/ 車幅 234cm/ 全高 298cm 積載重量 4,350kg
[6t ユニック平]
全長 851cm/ 車幅 234cm/ 全高 294cm 積載重量 6,700kg
[4t ユニック箱]
全長 728cm/ 車幅 219cm/ 全高 311cm 積載重量 2,250kg

会社概要

- 名称 北清企業株式会社
 ■所在地 北海道札幌市東区北丘珠5条4丁目5番7号
 TEL／011-791-1101
 FAX／011-791-1233
 ■役員 代表取締役会長 川井雄一
 代表取締役社長 大嶋武
 ■創業 昭和44年3月
 ■資本金 3000万円
 ■決算期 9月
 ■事業内容
 ▶一般廃棄物収集運搬業
 ・(一財)札幌市環境事業公社の収集運搬代行業務
 ・札幌市塵芥処理委託業務
 ・札清一廢抜根許可 第90号

- ▶産業廃棄物収集運搬業
 札幌市許可 第05110004495号
 北海道許可 第00100004495号
 ▶特定管理産業廃棄物収集運搬業
 札幌市許可 第05150004495号
 北海道許可 第00150004495号
 ▶産業廃棄物処分業
 札幌市許可 第05120004495号
 ▶特定建設業
 北海道知事許可(特-23) 石第20298号
 土木工事業
 とび・土木工事業
 石工事業

会社沿革

- 昭和 44 年 3 月 現会長・川井雄一が新琴似清掃事業社として札幌一円の塵芥処理業務を始める。
 昭和 46 年 3 月 業界で初めて、機械車ロードパッカーを導入する。
 昭和 46 年 4 月 清掃法の改正とともに、札幌市より一般廃棄物処理の許可証（第3号）を交付される。
 昭和 46 年 5 月 新琴似清掃事業社を北清企業株式会社と改め、資本金 120 万円で設立する。
 昭和 46 年 12 月 札幌市と小・中・高校の塵芥収集契約を結び、同時に大口排出事業体の処理業務を委譲される。
 昭和 47 年 4 月 札幌市より各施設の塵芥処理を依頼される。
 昭和 48 年 5 月 札幌市北区新川 5 条 6 丁目に新社屋及び関連施設が完成する。
 昭和 50 年 4 月 資本金を 400 万円にする。
 昭和 52 年 4 月 北都清掃株式会社と合併する。また、資源部を設け古紙の回収に進出する。
 昭和 53 年 4 月 北清商事株式会社を資本金 500 万円で設立、有限会社栄興産を吸収合併し、古紙回収業務を開始する。
 昭和 53 年 11 月 江別市より一般廃棄物処理業の許可証（第3号）を交付され、江別市工栄町に北清企業株式会社江別支店を開設する。
 昭和 56 年 6 月 岩見沢市より一般廃棄物処理業の許可証を交付され、同年 6 月に岩見沢支店を開設する。
 昭和 57 年 11 月 札幌市東区北丘珠 5 条 4 丁目に新社屋が完成する。
 昭和 59 年 4 月 北清企業株式会社の資本金を 3,000 万円に増資する。
 昭和 60 年 7 月 北海道特殊自販株式会社を資本金 1,000 万円にて設立。
 平成 6 年 4 月 事業系一般廃棄物の窓口が財団法人札幌環境事業公社となる。
 平成 6 年 8 月 北清企業株式会社南九州支店を開設する。
 平成 6 年 12 月 九州北清株式会社を資本金 5,000 万円にて設立。
 平成 8 年 1 月 宮崎県より産業廃棄物処理施設設置許可証を交付される。
- 平成 10 年 11 月 札幌市北区篠路町拓北に建築廃材の積替え保管施設『北清リサイクルセンター』を建設する。
 平成 11 年 1 月 『北清リサイクルセンター』が建築系産業廃棄物中間処理（選別）施設となる。
 平成 15 年 1 月 札幌市東区丘珠に中間処理用施設『北清リサイクルファクトリー』を建設する。
 平成 15 年 3 月 『北清リサイクルファクトリー』施設内に石膏ボード破碎機（渡辺工業製 RECOM400）を設置し、石膏ボードのリサイクルを始める。
 平成 15 年 5 月 『北清リサイクルファクトリー』施設内に廃食油再生燃料化装置（株式会社セベック製 EOSYS-500）を設置し、地球環境にやさしい燃料の使用を始める。
 平成 15 年 8 月 ISO14001 認証を取得する。
 平成 17 年 12 月 『北清リサイクルファクトリー』施設内に産業廃棄物中間処理施設を設置。蛍光管リサイクル及び各種産業廃棄物のリサイクルを始める。
 平成 20 年 4 月 リサイクル石膏粉を利用したグラウンド用ライン引き粉『エコプラスターライン』を製造し、日本理化学工業株式会社と OEM 契約で販売を開始する。
 平成 20 年 8 月 環境に配慮した取組みを自主的に行っている事業所として『さっぽろエコメンバー』に認定登録される。
 平成 21 年 3 月 『北清リサイクルファクトリー』で展開するバイオディーゼル燃料化事業が、道内初となる軽油特定加工業者として認定登録される。
 平成 21 年 3 月 創業 40 周年を迎える。
 平成 21 年 7 月 土木工事業、とび・土木工事業、石工事業の建設業許可を取得する。
 平成 21 年 9 月 『北清リサイクルファクトリー』で展開する廃石膏ボードのリサイクル事業が、道内初となる廃棄物再生事業者として認定登録される。
 平成 23 年 10 月 平成 23 年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰を受賞する。
 平成 24 年 1 月 札幌市から優良産廃処理業者として認定される。
 平成 24 年 2 月 北海道から優良産廃処理業者として認定される。
 平成 24 年 7 月 札幌市から札幌の環境保全に貢献する企業として、さっぽろ環境賞環境保全・創造部門優秀賞を受賞する。
 平成 24 年 12 月 北清リサイクルセンターにおいて、固形燃料（FRP）製造設備の稼働を開始する。

HOKUSEI GROUP

エコアクション21取得
株式会社 北清

<http://kk-hokusei.jp>
北清グループの管理業務全般及び
環境関連商品の販売
札幌市東区北丘珠5条4丁目
732番地51
TEL.011-788-1055

ISO14001取得
**角山開発
株式会社**

<http://www.kakuyama-k.com>
先端の環境エンジニアリング企業

江別市角山425番地
TEL.011-385-2669

エコアクション21取得
**岩見沢清掃
株式会社**

一般廃棄物、建築・建設廃材まで
幅広く
岩見沢市南町7条1丁目
4番9号
TEL.0126-22-4447

エコアクション21取得
**西日本環境技研
株式会社**

<http://www.nk-giken.com>
環境分析、廃棄物処理及びリサイクル
に関するコンサルタント業務
宮崎県小林市東方3771番地3
TEL.0984-23-4562

ISO14001取得
**北清ふらの
株式会社**

<http://www.hokuseifurano.com>
廃棄物の収集・運搬・処理及び
リサイクル事業のエキスパート
富良野市字学田三区
TEL.0167-22-5066

**北清えさし
株式会社**

北海道南エリアにおける
管理型処分場の運営
檜山郡江差町字愛宕町18
TEL.0139-52-6100

ISO27001, ISO14001取得
**北清商事
株式会社**

<http://www.hokuseisyoji.jp>
段ボール収集・機密書類の処理、
廃棄物コンサルタント事業
札幌市東区北丘珠4条4丁目
3番12号
TEL.011-791-0131

エコアクション21取得
**江別清掃
株式会社**

<http://www.ebetsuseisou.jp>
産業廃棄物、一般廃棄物の
収集運搬業務
江別市角山69番地27
TEL.011-383-3261

エコアクション21取得
**北海道特殊自販
株式会社**

<http://www.tokusyuzihan.jp>
特殊車両の開発とメンテナンス
札幌市東区北丘珠4条4丁目
3番20号
TEL.011-791-1578

エコアクション21取得
**北清コーポレーション
株式会社**

<http://www.kakusan-pl.com>
えべつ角山（かくさん）パークランド
(パークゴルフ場)の運営
江別市角山199番地1
TEL.011-389-5000

ISO27001, ISO14001取得
**九州北清
株式会社**

<http://www.k-hokusei.co.jp>
次世代の廃棄物処理ブランドの
開発・運営
宮崎県小林市東方4066番地25
TEL.0984-24-1170

**北清ヘリシス
株式会社**

<http://www.nhs-inc.co.jp>
航空事業・観光遊覧
空撮・測量調査
札幌市東区北丘珠5条
4丁目732番地51
TEL.011-788-1057



〒007-0885 札幌市東区北丘珠5条4丁目5番7号
TEL 011-791-1101㈹ FAX 011-791-1233

北清企業が目指す廃棄物・未利用資源からのものづくり

「捨てる」から「使う」「活かす」へ地域で排出した 廃棄物を地域で活用するエネルギーに

RPF(固形燃料)製造プラント

北清企業では、廃棄物の回収・再資源化を行い地域で活用できるエネルギーとして還元し循環型社会の構築に貢献したいと、2012年12月にRPF製造プラントを設立し稼働を開始しました。これまでマテリアルリサイクルが困難とされてきた廃プラスチック類及び紙くず等を、高品質な固形燃料RPFとして再生し、その製品は化石燃料に代わる貴重なエネルギー源として札幌圏域内で利用されます。廃棄物の焼却や化石燃料の使用によるCO₂発生を軽減し、地域内での資源循環に貢献するHOKUSEI RPF製造プラントを、ぜひご活用ください。

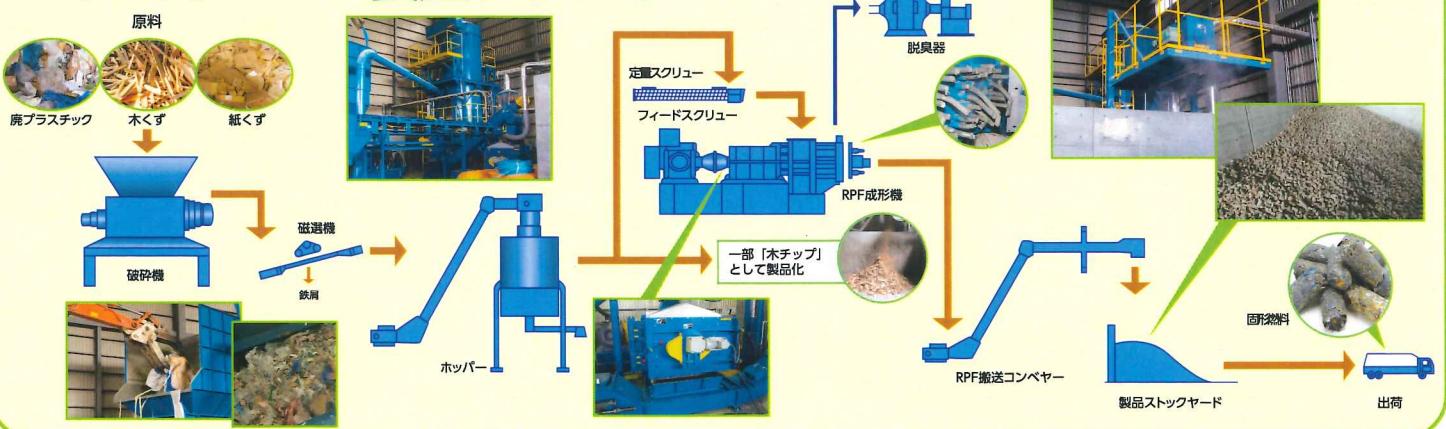


R Refuse 廃棄
P Paper 紙
Plastic プラスチック
F Fuel 燃料

廃プラスチック・紙くず・木くずを原材料とする固形燃料。主に石炭・重油などの化石燃料の代替として製紙工場や鉄鋼業界、熱供給会社等で使用され、CO₂排出量が削減できるエコロジーエネルギーとして注目されています。

- 配合比率の調整で発熱量のコントロールが可能
- 高い運搬性と貯蔵性
- 石炭並みの高カロリー
- 他燃料と比較して経済的
- 環境に優しい

HOKUSEI RPF製造プラント



「地球にありがとう」～安心をもっと未来へ～



北清企業株式会社

環境に・人にやさしい資材の有効活用

新築系建設工事の石膏ボード端材廃棄物をリサイクル

エコプラスター・ライン

グラウンド用リサイクルライン引き粉

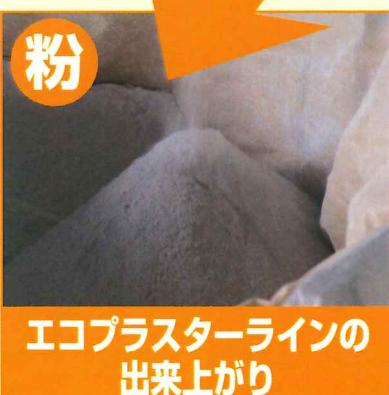
新築系建設工事等に使用される新品石膏ボードの端材廃棄物を捨てないで
ライン引き用粉に特殊製法にてリサイクルしたエコ認定商品です。
pH7.5のほぼ中性なので体にやさしく、環境にも配慮しています。
又、アスベスト等の有害物質は入っていませんので安心してご使用出来ます。
炭酸カルシウム製20kg(16L)の約1.8倍(29L)の容積を実現。
大変長く引けるのでお得です。

99.7%再生材料使用

エコマーク認定商品
認定番号 第07 112 081号

グリーン購入推奨商品
北海道リサイクル製品
認定

エコプラスター・ラインの 製造システム



特殊製法で粉と紙を綺麗に分離
(特許取得)

炭酸カルシウム製(pH9.4)より
アルカリ度が低い
ほぼ中性の石膏製です

石膏製=ほぼ中性だから
安心

■アルカリ度の比較



※消石灰は、文部省通知(平成19年11月2日 19ス学健第19号)により
現在は使用できません。

『地球にありがとう』～安心をもっと未来へ～



北清企業株式会社

廃食油のリサイクル

BIO DIESEL FUEL

BDF

バイオディーゼル燃料

植物性の油を原料にした軽油(ディーゼル)の代替燃料です。

欧米では30年前から国策として普及に取り組んでおり
日本国内では10年程前より食用廃油を精製したバイオディーゼル燃料が、
一部自治体等のディーゼル車に使用され始めています。

京都市では既に、市バスやゴミ収集車合わせて300台程に使用されています。

燃料費削減

原油価格の高騰により、
軽油代替燃料として
ディーゼル車両などに使用することで、
大幅な燃料費削減が可能です。

CO₂削減、 化石燃料の使用抑制に伴う 地球温暖化防止

化石燃料を燃焼することによって発生する
CO₂をなくし、植物由来の食用廃油を
化石燃料である軽油の代替とすることで、
CO₂削減につながり地球温暖化防止に
大いに役立ちます。

環境にやさしい 低公害燃料

バイオディーゼル燃料は
自動車排ガス中の黒煙を大幅に削減し、
酸性雨の原因となる硫黄酸化物も
ほとんど発生しない低公害燃料です。

食用廃油からバイオディーゼル燃料へ 精製の流れ

回収した食用廃油は、装置「EOSYS」でメタノールと触媒を加えて化学反応させ、
軽油性状と同等なメチルエステル(バイオディーゼル燃料)を取り出します。

その後、数回の洗浄工程を経て、バイオディーゼル燃料が完成します。

廃食油100リットルから約90リットルの燃料ができます。



約5~6時間

北清企業が進める環境貢献

業界初の試みでCO₂削減対策に取り組みます

カーボン・オフセット

バイオディーゼル燃料により削減されたCO₂と同量の排出権でカーボン・オフセット

私たち北清企業株式会社は、自社の収集運搬車両において軽油に代替し、実質の二酸化炭素の排出は計上されない環境負荷の低いバイオディーゼル燃料を使用しています。そこで北清企業はさらなる環境貢献のために、軽油に代替しバイオディーゼルを使用することで削減されたCO₂と同量の排出権を収集運搬業務契約を結んだ企業に提供し、カーボン・オフセットを行っております。

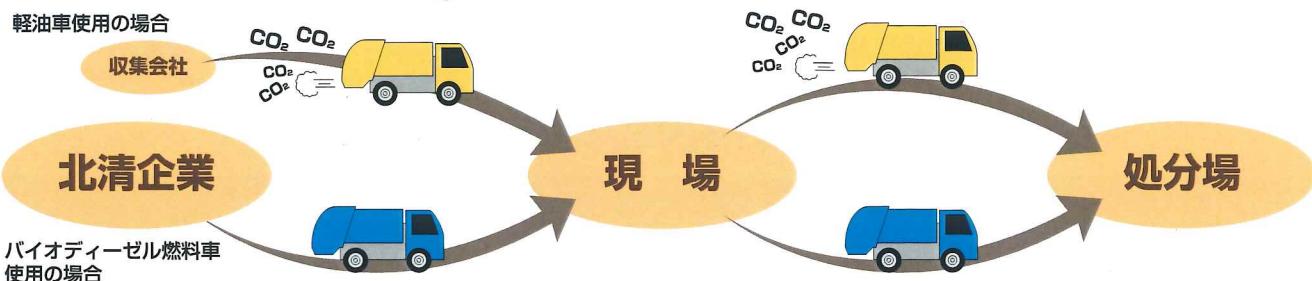


バイオディーゼル燃料で動く北清企業の収集車両

カーボン・オフセット付収集運搬プラン

バイオディーゼル燃料使用によって削減されたCO₂排出と同量の排出権を提供しています

北清企業株式会社は、廃食油由来によるバイオディーゼル燃料を製造し、自社の収集運搬車両の燃料として利用しています。その結果、約400トン／年（軽油換算約151,500リットル）のCO₂削減に貢献しています。そこで、当社で削減できたCO₂排出量と同量の排出権を各契約企業様に提供し、環境貢献のお手伝いをさせて頂いております。



軽油車使用時のCO₂排出量と同量の排出権をカーボン・オフセットとして提供しています

カーボン・オフセットとは

日常生活や経済活動において避けることができないCO₂等の排出について、排出量が減るよう削減努力を行った上で、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方です。



植林や排出権購入という方法で
温室効果ガスの自社排出をオフセット